

英語	日本語
AED Use First Versus CPR First in Cardiac Arrest in Drowning	溺水による心停止に対する CPR 開始手順 (AED ファースト vs CPR ファースト)
Author: Katherine M. Berg, et al. BLS Task Force	
<p>PICOST (Population, Intervention, Comparator, Outcome, Study Designs and Timeframe)</p> <p>Population: Adults and children in cardiac arrest after drowning Intervention: AED administered before CPR Comparator: CPR administered before AED Outcome: Critical: Survival to discharge or 30 days with favorable neurological outcome and survival to discharge or 30 days Important ROSC Study designs: RCTs and nonrandomized studies (non-RCTs, interrupted time series, controlled before-and-after studies, cohort studies) were eligible for inclusion. Unpublished studies (eg, conference abstracts, trial protocols), manikin studies, narrative reviews, and animal studies were excluded. Time frame: All years and all languages were included as long as there was an English abstract and a full-text translation was possible. The literature search was updated to April 25, 2023.</p>	<p>P: 溺水による成人と小児の心停止 I: AED を CPR 開始前に使用すること C: CPR を AED 使用前に行うこと O: 重大なアウトカム: 退院時または 30 日後の良好な神経学転帰および生存 重要なアウトカム: ROSC S: RCT と非無作為化研究 (非 RCT、分割時系列解析、前後比較研究、コホート研究) を対象とした。論文化されていない研究 (学会抄録、臨床試験のプロトコールなど)、マネキンの研究、ナラティブレビュー (総説)、動物実験は除外した。 T: 英文抄録があり、全文の英訳が入手できた、全ての年の、あらゆる言語による文献を対象とした。文献検索は 2023 年 4 月 25 日まで。</p>
<p>Treatment recommendations</p> <p>We recommend that CPR should be started first and continued until an AED has been obtained and is ready for use for adults and children in cardiac arrest caused by drowning (good practice statement).</p> <p>When available, we recommend an AED be used in cardiac arrest caused by drowning in adults and children (good practice statement).</p>	<p>推奨と提案</p> <p>溺水による成人および小児の心停止傷病者に対して、まず CPR を開始し、AED を入手して使用できるようになるまで継続することを推奨する (優れた医療慣行に関する記述)。</p> <p>AED が使用可能な場合は、溺水による成人および小児の心停止傷病者において、AED を使用することを推奨する (優れた医療慣行に関する記述)。</p>

1. JRC の見解と解説

- このトピックは CoSTR2020 では検討されておらず、CoSTR2023 で初めて検討された。
- 今回の推奨と提案は、救助者が一人しかいない場合を想定したものである。
- 溺水という特殊な状況において CPR を最初に行う根拠は、溺水後の心停止はほとんどが低酸素血症に起因すること、溺水による心停止がショック可能なリズムを呈する割合が低いことに基づいている。しかしながら、成人と小児における溺水後の一部の心停止は、心原性に起因している可能性がある。
- 溺水に関する AED の使用に関して有害性のエビデンスが見つからなかった。
- AED の使用は一般的に傷病者の転帰改善と関連している。
- 溺水による心停止傷病者に電気ショックを試みる際には、傷病者が水に浸かっていないことの確認、パッド装着前に胸部の水を拭くことの重要性を強調すべきである。

2. わが国への適用

溺水による成人および小児の心停止に対して、まず CPR を開始し、AED を入手して使用できるようになるまで継続することを提案する予定である(優れた医療慣行に関する記述)。

AED が使用可能な場合は、溺水による成人および小児の心停止傷病者において、AED を使用することを提案する予定である(優れた医療慣行に関する記述)。

3. 担当メンバー

作業部会員(五十音順)

名知ひかる、横江正道

共同座長(五十音順)

野田英一郎、若松弘也

担当編集委員(五十音順)

西山知佳、乗井達守

担当顧問

畑中哲生

編集委員長

坂本哲也